

のか。また、年間どれぐらいの要望があって、どれぐらい対応できているのか。又、現在凍結になっている事業はどのように対応するのか。

答 道路関係としては、道路

修繕工事、道路新設改良工事、交通安全施設整備事業等があります。修繕工事の要望については、過年度積み残し分238件と本年度の要望受付件数34件を合わせ、合計272件となっています。そのうち17件について対応ができています。今後の対応は、現地を再精査し、緊急性、必要性の高いものから順次実施し、市道の安全性の確保に努めたいと考えています。

農政関係については、現在補助事業優先で取り組んでおり、土地改良事業補助金、農林畜産振興事業補助金等のメニューを設けています。ただ、市の財政状況を踏まえまして、予算の確保が非常に難しい状況になっています。土地改良事業においては、平成19年度に農地・水・環境保全向上対策の交付金の補助事業が始まった関係で、災害関

係を除き現在休止している状況です。



職員採用と職員研修について



高見 忍 議員
(21 政会)

問 新卒採用について20名の

応募があったと聞くと採用はゼロ。応募方法または試験方法に問題があったのではないかと。今後の応募試験のあり方は。職員の研修は、住民全体の奉仕者としてふさわしい職員としての資質を身に着けるため重要。しかし、スーパー等に研修派遣することは、職員が職務を遂行していくために必要な知識、技能等を習得させ向上させるための教育訓練に全く該当しないと

思う。研修の効果と実績は。

答

新卒採用について、今年はいずれも基準レベルに達しなかったということで採用を見送っています。応募期間については1カ月以上前に広報、ホームページで周知をし、区長にも町内回覧をお願いし、大学等の就職活動の支援担当者にも周知をしたところです。採用の時期、採用試験の内容等についても検討を行い、優秀な人材の確保に努めたいと思います。

研修の効果と実績は、民間企業で厳しさ、接客業務等を実感するなど大変有意義だったと考えています。お客様のニーズの把握方法や接客方法、クレームの処理体制、個人のスキルアップと組織連携、頑張る個人が報われるインセンティブ等について、民間企業のノウハウを吸収することに、大きな成果があったと期待しています。研修の成果を本人だけでなく、周りの職員にも波及させるなど相乗効果にも期待したいと考えています。

教育施設の安全性について



井上芳弘 議員
(日本共産党)

問

宇仁小学校については、教育委員長がおっしゃった地域の思い、理解と同意は極めて重要で、宇仁地域の皆さん

は将来的に複式学級に近い状況になることも前提に、だからこそ地域ぐるみの取り組みを進め、小規模特認校等の申請をしながら、山村留学等も含めて、地域に学校を残してほしいという努力を続けている。ただ古くなってきたら建てかえるということではなく、地域が一体となって学校を守ろうとする姿勢こそが、新しい存続の方向だと思つ。適正規模で進めたい学校、小規模で残したい学校をしっかりと論議し、地域づくりも含めて検討していくことが、本来の教育のあり方、地域の発展のあり方の礎となるのではないかと。

答

宇仁小学校の中で、建てかえを契機に幼児小中一元化ができる、地域の皆さんの見守りや学童保育、市民参画が望める、加西市内全域から新しい学校に通学する、近隣の加東市等からも生徒を受け入れられる等の条件、あるいは例えば相応な寄附金を地元で出している、私学に運営を任せる等、PPPを活用して学校の整備、運営もやってみよう、現校舎のあとの有効利用策、跡地処分等の諸条件を整えば、宇仁地区に新しい形の学校を設置すること



宇仁小学校